

令和4年2月16日
九州地方整備局
立野ダム工事事務所

ふるさと

令和3年度「手づくり郷土賞」伝達式を行います

■ 地域づくりの優れた取組を表彰する「手づくり郷土賞」を受賞された団体に対して、**国土交通大臣認定証の伝達式**を行います。(※)

■現地視察

【日時】令和4年2月21日（月）13時40分から（30分程度）

【場所】あそ立野ダム広報室、たてのてらす（資料1参照）

■伝達式

【日時】令和4年2月21日（月）15時00分から（30分程度）

【場所】南阿蘇村役場 2階庁議室

【概要】九州地方整備局長から一般社団法人みなみあそ観光局へ認定証等を伝達。

【受賞者】一般社団法人みなみあそ観光局

■手づくり郷土賞の概要（資料－2～4参照）

■取材：伝達式後（15:30～）に取材対応いたしますので、取材希望の場合は、別紙取材登録書により事前申し込みをお願いします。

■その他：新型コロナウイルス感染拡大防止のため取材を控えられる場合でもご希望があれば、伝達式開催模様の写真をお渡しします。
別紙取材登録書にメールアドレスを記載のうえ提出ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため

- ・取材に来られる方はできる限り少人数として頂くようご協力をお願いします。
- ・「手指の消毒」や「マスクの着用を含む咳エチケット」等の感染症予防対策にご協力をお願いします。
- ・ご来場前に必ず受付で『体温測定（検温）』をしていただき、発熱などの症状がある場合は来場をお控えいただきますようお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、中止又は開催方法を変更する場合があります。

■問い合わせ先

（手づくり郷土賞について）

九州地方整備局 企画部 企画課長補佐 藤木 敏治（内線：3155）
TEL：092-471-6331（代表）

（伝達式について）

立野ダム工事事務所 工務課長 宮脇 正彦（内線：311）
TEL：096-385-0707（代表）

(別紙)

取材登録

会議名：手づくり郷土賞伝達式（2月21日（月）15:00開催）

取材を希望される方は、事前にご登録をお願いします。
下記に「報道機関名、記者名、連絡先」をご記入のうえ、このまま FAX でご返信
願います。

FAX 送信期限：令和4年2月18日（金）17:00 まで

FAX 送付先：立野ダム工事事務所 工務課

FAX 番号：096-387-6243

記

◆報道機関名

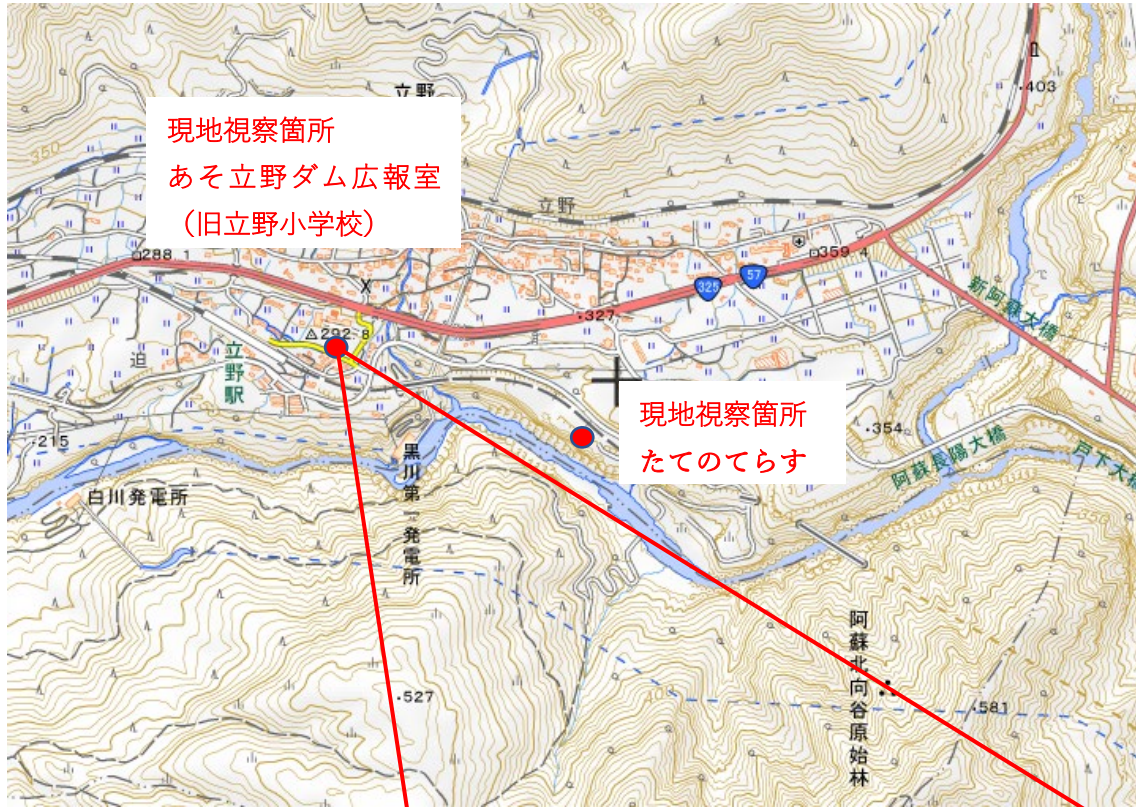
◆記者名（当日会場に来られる方すべて）
1) _____
2) _____
3) _____
◆連絡先（代表者の連絡先・携帯番号等）

◆メールアドレス
<input type="checkbox"/> 写真提供を希望します。（希望する場合チェックしてください）

（備考）

上記の「◆連絡先（代表者の連絡先）」には、当日に連絡可能な連絡先を記入して下さい。

（新型コロナウイルス感染症の状況により、中止又は開催方法を変更する場合がありますため、中止の場合に取材登録者に連絡します。）



※ヘルメットは持参ください。



国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞^{ふるさと}」とは

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和3年度で36回目。

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和3年度）

委員長	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究院 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	斉藤 俊幸	地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京工業大学 准教授
委員	野澤 康	工学院大学 副学長

(敬称略)

令和3年度手づくり郷土賞【一般部門】 選定案件概要

(熊本県・南阿蘇村)

南阿蘇・立野ダムインフラツーリズムの実践 ～地元密着・自立運営型での商品開発と運営～



立野ダムガイド現地研修



地元住民との交流付きダムツアー

<活動内容>

2019年より地域住民から「立野ダムガイド」の研修・育成を実施し11名を認定。立野ダムガイドと一緒にJTBやクラブツーリズムなどと連携したツアー商品を開発している。教育旅行の一環として立野ダムと熊本地震震災遺構から地震と水災害への防災を学ぶツアープログラムを実施しており、これまでに15回以上(累計1,000名)の企画・ツアー催行を実施。その他、立野ダムのPRを行うためのリーフレットの作成・配布を行い、立野ダムの意義を学んでもらうための「白川・阿蘇・立野スタンプラリー」なども行っている。

<地域活動団体>

一般社団法人みなみあそ観光局

令和3年度 手づくり郷土賞 選定結果

<一般部門：12件>

No	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
				地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	利尻町	”資源蘇生”未利用資源を活かした地域づくり ～海藻アートの独自文化と子どもたちへの継承～	NPO法人利尻ふる里・島づくりセンター	—
2	長野県	安曇野市	絶滅危惧種の地域への拡大を目指して ～オオルリシジミを市民の手で郷土に復活～	岩原の自然と文化を守り育てる会	—
3	静岡県	川根本町	接岨湖(長島ダム湖)で町を元気に!	一般社団法人 エコティかわね	—
4	長野県	飯田市	天竜川総合学習館発「川に親しむ河童人づくり」 ～水辺空間を多様な体験学習に活用～	天竜川総合学習館 かわらんべ	中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
5	京都府	亀岡市	京都・亀岡 ～保津川のプラごみをなくそう～	川と海つながり共創プロジェクト	—
6	京都府	向日市	「竹の径」に倣え「藪の径」景観づくり ～市民による手づくり郷土ランドスケープ～	藪の傍	—
7	兵庫県	姫路市	姫路城中曲輪バタフライガーデン創造事業 ～SDGsの理念の実現と学校を核とした郷土づくり～	白鷺学校運営協議会	—
8	島根県	邑南町	三江線鉄道公園 ～鉄道遺産を活かした「まちづくり」・「インフラツーリズム」の取組～	特定非営利活動法人 江の川鐵道	邑南町
9	佐賀県	伊万里市	水辺施設「ウォーターフロントこまなき」 ～自然との共生と利活用～	駒鳴集落を守る会	—
10	佐賀県	鹿島市	森里川海干潟をつなぐまちづくり ～有明海再生に向けて～	鹿島市ラムサール条約推進協議会	鹿島市
11	長崎県	雲仙市	ジャカラダで子供達が誇れるふるさとづくり	小浜温泉57	—
12	熊本県	南阿蘇村	南阿蘇・立野ダムインフラツーリズムの実践 ～地元密着・自立運営型での商品開発と運営～	一般社団法人みなみあそ観光局	—

<大賞部門：1件>

No	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
				地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	美幌町	手づくり魚道の完成が出発点！ ～SDGs時代の川との付き合い方～	駒生川に魚道をつくる会	—